

安心と元気の三田めざして



後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年の9月11日には任期満了となる衆議院。必ずそれまでに総選挙が行なわれます。総選挙に向け、麻生政権から人気取り的政策が矢継ぎ早に出されています。定額給付金・子育て支援金・高速道路千円化など、景気回復に向けた市場の活性化政策はある程度の効果は期待できると思いますが、どの事業も大切な税金です。必ず使った分は税金になって将来の負担となります。使う限りは、しっかりとしたビジョンを持って欲しいものです。

三田市は、3月議会も終わり、新しい年度を迎えました。平成21年度は、一般会計予算359億円、特別会計・企業会計と合わせた総予算664億円です。

歳入は、厳しい経済環境での市税収入や譲与税・交付金の10億円の減額、地方交付税・臨時財政対策債で9億円増ですが、20年度より厳しい状況です。

歳出では、新行財政改革の効果5億円に対し、「元気なふるさと三田」に向けた重点施策に新たに3.5億円投入するなどメリハリを持たせています。市民病院会計支援として、独自繰出し2億円を上乗せして、総額17億円の支援、高金利時代の借金を低金利に借換えに29億円など将来の負担を軽減します。

私も3月16日17日の両日、会派：民主党三田を代表して予算特別委員会に立ち、雇用対策・市民病院・子育て支援・教育・環境・安全・行財政改革・予算のあり方について、質問を行ないました。

特に、若者就労支援に対し、市としての取り組みでは、早急に雇用相談窓口を設置する、との答弁を頂きました。(4月1日に「雇用・生活支援相談所」が開設され、雇用保険・生活保護・市税や保育料の減免・障害者就労など幅広い分野の相談を2名体制で受け付けられます。)

後援会活動としては、市政報告会を適宜開催して参りました。これからも対話を第一と考え、ご意見・ご要望をお伺いし、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力のある元気なまちづくりに向け、精一杯頑張ってお参ります。皆様の力強いご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。



三田市議会議員

かずひろ
びとう和広



議会報告(平成21年度予算)

平成21年度予算特別委員会(3/16-18開催)

一般会計	358.9億円(前年比3.8%増)
特別会計	171.1億円(前年比1.3%減)
企業会計	133.7億円(前年比12.8%減)
合計	663.7億円(前年比1.4%減)

<予算特別委員会質問:(質問者:美藤)>
(び:は質問/答弁に対する私の考えです。)

1.若年者就労支援について

問:若年者就労支援について、現在の厳しい雇用環境に市としてどう対応するのか?

答:早急に雇用相談窓口を設置する。(4月1日に「雇用・生活支援相談所」が開設されました。雇用保険・生活保護・市税や保育料の減免・障害者就労など幅広い分野の相談を2名体制で受け付けられます。)

び:緊急雇用対策として、臨時職員を平成20年度2名21年度25名定額給付金支援に5名の採用が図られた。臨時のため単年度ではあるが、雇用拡大は評価する。今後市内事業所への雇用拡大に向け、事業化を要望していく。

2.市民病院について

問:県と神戸大学医学部との提携が結ばれ、医師派遣が強化されることとなった。三田市民病院に応援に来ていただいている柏原病院の看護師15名が将来戻る。院内保育を含み、どう対応するのか?

答:医師/看護師確保は継続して取り組んでいく。院内保育は現在の看護師のアンケートではほとんど要望が無い。新年度は病後児保育を優先した。

び:最終日の市長報告に医師5名確保(1名減のため、4名増)が実現しました。小児科は3名体制となります。まだ夜間救急受付はまだできないので引き続き要求して参ります。看護師は臨時採用20名、新規18名採用により、病床281まで回復しました。

3.子育て支援策の問題について

問:大阪通勤の保護者にとって放課後児童クラブは7時まで延長が必要と考えるがどうか。

答:要望は理解している。新年度やっと6時半まで実現できたので、まずはその結果を見てからとしたい。

問:乳幼児医療費助成や通学バス支援の所得制限や距離制限を撤廃できないか。

答:現段階では県補助や国基準を上回っており、現行維持で精一杯である。応分の負担を求める。

び:一定以上の所得者こそ、市税収入の中心ですから、安心して子育てできるまちづくりで、三田定着を図ることが、都市間競争の柱だと考えています。

4.環境のまちづくりについて

問:事業系ごみの回収は2社に随意契約されている。他市にはより効率的な業者があると聞くが、自由競争にすることはしないのか?

答:単価を下げるため長期契約としてきた経緯もある。随意契約を発展的に解消できるよう進める。

び:三田市のゴミ削減対策において事業系は後回しでした。部長答弁で問題認識されていること、将来的に向けて改善を図る可能性が出た点は評価できます。

5.県の行革連携について

問:教育委員会に教育研修所を設置するとあるが、1百万円でどのように進めるのか、実体はできるのか?

答:平成21年度は組織の事務局立ち上げである。

問:県の総合庁舎に旧保健所があった。現在の県健康福祉事務所を完全に撤退し、宝塚に集約され、場所が倉庫となると聞いた。この際、県と連携し、教育研修所やNPO団体用に活用できないか?

答:申入れはしたが、具体的に進まず、今回の事務所撤退の案内をみて驚いている。継続して協議する。

び:三田市内にある立派な建物であり、当時グッドデザイン賞にもなりました。県も市も財政難である今こそ、既存の資産を是非活かして欲しいものです。

4月以降三田から撤退した県健康福祉事務所



手前の2階建ては倉庫になる?

6.安全のまちづくりについて(消防・防犯カメラ)

問:消防北分署の整備と本署・西分署との住み分けは?

答:平成21年度は拠点検討である。それぞれの資産を有効に使えるように、北分署に閉じるのではなく、必要に応じて三田駅北地域も応援に行ける拠点を検討する。

問:最近の事件で公園植栽の窃盗が発生している。防犯カメラはますます重要課題と思うがどうか?

答:まず幼稚園・小/中学校には一斉設置する。今後、地域防犯と連携し、必要箇所への設置を図る。

7.予算のあり方について

問:事業も目的やコスト・目標が質問しないと分からない。決算審議で提出される「事務事業評価シート」の計画部分をどうして予算時にだせないのか?

答:事務事業評価は決算用に作られるので、平成21年度の事業は夏に作られる。組織ごとに作成するので今の予算には間に合わない。

び:この考え方が職員の固定観念です。シートはA4両面。表面が目的・目標・コスト・人員・効果などの一覧表です。裏面は進捗・効果・結果の一覧表です。予算審議で表を審議し、途中経過の確認にも使えます。結局夏に作る資料を半年前に査定用に作ればいいのに、効率が理解されていない。今後、積極的に働きかけていきます。

議会報告(委員会活動)

都市環境常任委員会(2/16、3/16、3/26)

三田まつり実行委員会報告(8/2一日で花火中止)なぜ報告?議会は全く相談なしの委員会とは?と詰め寄ったが、決定事項です、の一点張り。ペットボトル引取業者支払遅延に訴訟提起伺い。手続きが遅れ8ヶ月(550万円)も累積になった。

議会報告(3月定例議会)

3月定例議会(2/24~3/26開催)

- 2/24: 定例議会(1日目)市長施政方針・議案説明
- 3/4-5: 定例議会(2、3日目)一般質問
- 3/13: 定例議会(4日目)採決(平成20年度補正予算)
- 3/16-18: 平成21年度予算特別委員会
- 3/26: 定例議会(5日目)採決(平成21年度予算他)

<市長施政方針>(2/24初日方針)

新年度重点課題:

- ・協働のまちづくり
- ・行財政改革
- ・市民病院の経営再建と健全化

新年度重点施策:

- ・子育て支援と教育の充実
- ・安心で安全な暮らしの充実
- ・ゴミの減量化・資源化と環境施策の充実
- ・個性ある文化の創造と生涯学習の充実
- ・地域産業の活性化と雇用対策の充実

<市長施政方針>(3/26最終日挨拶)

1. 市民病院の診療体制の拡充

4月より消化器科・循環器科・小児科・外科で新たに医師が5名増(1名減)となります。

小児科も従来2名3名体制となります。

ペインクリニック外来の開設・糖尿病の診察を充実し、病床数も看護し確保により274→281床で稼働可能。(小児科夜間受付はまだできませんが、実現に向け、継続して取り組みます。)

今後も医師・看護師の確保を最大の課題とし、市民病院のあり方検討委員会の答申に基づき、市民に信頼される急性期病院としての役割と機能を果たせるよう議会としてサポートして参ります。

2. 第2テクノパーク開発

従来のテクノパーク完売を受け、約97ヘクタールをUR都市再生機構が購入済みである第2テクノパークの開発起動手続きを訴えてきましたが、今回土地の区分けと譲渡手続きが行なわれました。

約36ヘクタールの自然保護区域を三田市に譲渡(3月末に実現)貴重な動植物の生息が確認されている。市が取得管理し将来にわたってゾーン一帯の保全を図っていく。))

残り約60ヘクタールを民間事業者の早期開発・公募に向け、UR年再生機構と協力を進めていく。

3. 「特別交付税」

国への要望にあたり、人件費カットや財政事業を訴えて、地域手当の国基準に沿った切り下げなどにより、ペナルティを受けることなく、むしろ好評価を頂き、対前年度5.6%増の7.0億円を交付された。

これにより、財政調整基金の取り崩しを減少でき、ニュータウンの借り換えの効果額12.8億円に約1.0億円を上乗せできた。

活動報告・予定

1~5月の活動

市・地区行事

- 1月・新春寿ぐ会・環境センター竣工式・とんど大会・成人式・各種新年行事・総合防災訓練
 - 2月・地区子ども会/老人会合同餅つき大会・北摂文化懇話会・マスターズマラソン
 - 3月・卒業/卒園式・社会福祉協議会50周年・西山高層市営住宅防災訓練・各種総会・春闘関連行事
 - 4月・入学/入園式・消防大会・各種総会
 - 5月・メーデー大会・各種運動会
- 各月の最終土曜は民主三田市民塾(勉強会)を開催

びとう和広の視点

<議長不信任案>

今回の議会の中で、議長不信任案が提出され、10:11で否決、採決は11人が場外に出て、残った11人で行われる、という大荒れとなりました。

きっかけは三田市議会の議場に国旗・市旗掲揚でした。多数会派より、議会運営委員会で提案されましたが、議論平行線に、一旦取り下げ、請願を提出し、多数決による決定を強行しようとしていました。

慎重派が多く、付託された議会運営委員会で継続審議:採決が3:3の同数に委員長判断として継続審議となり、本会議でも12:11で継続審議となるはずでしたが、採決の日、副議長が体調不良で欠席の中、同数になった採決に、議長は委員会採決を覆し強行採決を決定したのです。

私は、最初の提案時より、三田は今、行財政改革はじめ難局を迎えている。もっと優先する課題が山積みではないかと、イデオロギーを含む繊細な課題に対し、結論を先送りする継続審議を訴えていました。また、議会運営委員会の副委員長として、私個人の判断より議会のなすべき役割を最優先に行動してきただけに、委員会決定を無視し、強行採決する議長に問題を感じ、議会運営委員会の委員長とともに副委員長を辞任しました。それでも、かまわずに強行採決する議長に、不信任案の提案となったのです。

<議会改革>

三田市にとって、財政が苦しい中、議員定数削減をはじめ、議会も痛みをうけるべき、と訴え続けてきましたが、改選後やっと検討委員会が立ち上がりました。

ところが、3月30日の会合で、いきなり議員定数削減はテーマにしない、と多数会派の一部から声が上がりました。選挙は良いことばかり並べ、当選したら全て都合よく変わるのでは、有権者を翻弄しているとしたかと思えません。

まずは、当局や議員の発言をしっかりと見える議会にするところから始めなければなりません。

自分の支援者の意向を実現することも大切ですが、活動の中で、現在・近未来・将来に向けた長期的ビジョンと、近隣市とも連携した広域的視点が必要です。

私は時間軸とその時々細かいデータに則って分析・予測・判断が必要なときだと考えています。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

後援会活動報告

日ごろより後援会活動にご理解・ご協力を賜り、感謝しております。

昨年の改選依頼、いくつかの後援会活動を実施して参りました。また、各種会合にも進んで参加させていただき、お礼を申し上げております。

4月20日は後援会総会を開催し、1年間の報告と、新年度活動計画を確認させていただきます。

これからも、皆様の声を大切に、出来るだけお会いして、問題や疑問をお聞きして参ります。皆様から頂いた、一つ一つの案件に真剣に取り組む、その改正や実現に向けて全力で頑張ります。力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

組合行事と共催のかにツアー



今回より組合行事のかにツアーを、後援会として共催しました。ご家族ともお話をさせて頂きました。

喜楽家にて 2/14

半期に一度の市政報告会です。今回は市長の施政方針を受け、雇用対策と子育て政策を中心に私の活動を報告いたしました。

三菱電機三田製作所内報告会



びとう和広市政報告会 食堂にて 2/25

民主党兵庫県第5区より

びとう和広は、民主党の地方議員としても、活動しています。いろいろな課題に直面する中で、どうしても、県や国の制度変更・支援が必要な事案が出てきます。その際に、国・県・市の連携が必要です。

2月2日三田市議会民主党三田の議員団は芝野県議と一緒に、厚生労働省国立病院課に出向き、三田市民病院と三田市にある兵庫中央病院との連携において、救急医療の効果的支援をお願いしました。1月より厚生労働委員長に就任された辻参議院議員が仲立ちで、所管の課長に最後まで対応頂きました。

厚生労働省に陳情



厚生労働省の国立病院課長以下約十数人に市民病院と兵庫中央病院の救急体制での連携について陳情。

参議院会館にて 2/2

独立行政法人国立病院機構「兵庫中央病院」は現在6階建ての新棟を建設し、4月中旬に4棟を集約して稼働する計画です。看護学校も3年前に閉鎖しています。

重度心臓病や筋ジスや結核など独自の先端分野を中心にその存在は貴重なのですが、救急対応を強化して、市民病院と連携を取ってもらえれば、市民病院も一次対応が軽減されますので、国の支援をお願いしました。

これからの連携のためにも、びとう和広は、梶原やすひろ氏始め、民主党を応援しています。



前衆議院議員 梶原やすひろ 民主党兵庫県第5区総支部代表

びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。また、後援会活動におきましても、ご理解とご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、三田市全体と三田市の将来を思い、議会において、財政はじめ多くの課題に取り組むとともに、皆様とともに、安心と活力のまちづくりのため、政策を進めてまいります。

議会改革活動も精力的に進め、市政のチェックや後援会活動とあわせて、力強く邁進しております。

『びとう和広』は、これからも、後援会の皆様にも少しでもお出合いができるよう、また、より多く皆様の声をお聞きし、問題解決に向け、全力で活動する所存でございます。まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。これからも、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitou-kazuhiro.com>